

Nikon

スピードライト

SB-500

使用説明書



「Nikon Manual Viewer 2」アプリ
いつでもどこでもスマートフォンやタブレットで
説明書を見ることができます。

Jp

SB-500と使用説明書について

A

お
使
い
に
な
る
前
に

ニコンSB-500をお買い上げくださいます。まことにありがとうございます。

ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みにになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

知りたいことの探し方

🔍 目次から (☞A-10)

操作方法、発光モード、撮影機能など、項目別に探せます。

🔍 目的別かんたん検索から (☞A-8)

名称や用語が分からなくても、使いたいことや知りたいことから探せます。

🔍 索引から (☞H-18)

英数字、五十音順の索引から探せます。

🔍 故障かな?と思ったらから (☞H-1)

動作がおかしいときや警告表示が出たときに役立ちます。



「Nikon Manual Viewer 2」アプリ

ニコンデジタルカメラの説明書をスマートフォンやタブレットで見ることができるアプリです。App StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。

*アプリおよび使用説明書をダウンロードするには、インターネットに接続できる環境が必要です(通信料が発生します)。

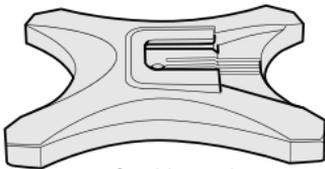
⚠ 安全上のご注意

安全にスピードライトをお使いいただくために守っていただきたい内容が記載されています。スピードライトをお使いになる前に必ずお読みください。詳しくは□A-13～A-21をご覧ください。

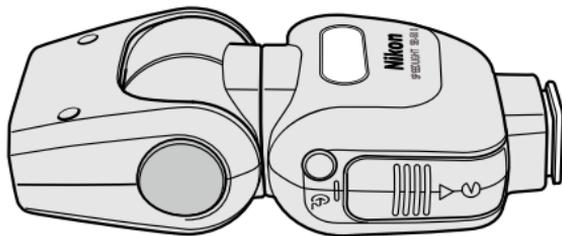
■ 付属品をご確認ください

SB-500と次の付属品がすべてそろっていることを確認してください。万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

- | | |
|--|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> スピードライトスタンド AS-23 | <input type="checkbox"/> 保証書 |
| <input type="checkbox"/> ソフトケース SS-DC2 | <input type="checkbox"/> 登録のご案内 |
| <input type="checkbox"/> 使用説明書（本書） | |



スピードライト
スタンド AS-23



SB-500

SB-500と使用説明書について

A

お
使
い
に
な
る
前
に

SB-500について

SB-500は、ニコンクリエティブライティングシステム (CLS) 対応のカメラとの組み合わせに最適化された、ガイドナンバー24 (ISO 100・m) の軽量でコンパクトなスピードライトです。ワイヤレス増灯撮影に対応し、マスターフラッシュとしても、リモートフラッシュとしても使用できます。また、最大照度約100lx (1m) のLEDライトを搭載し、静止画撮影時の照明や動画撮影時の補助照明としても活用が可能です。

CLS対応カメラ

FXフォーマット / DXフォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ (D1シリーズ、D100を除く)、F6、CLS対応ニコンコンパクトデジタルカメラCOOLPIX (□G-1)

- SB-500をマスターフラッシュとして使用できるのは、SB-500のマスターフラッシュ機能に対応したカメラ (D810A、D810、D750、D7200、D5500など) です。
- 本製品のLEDライトは撮影専用です。それ以外の用途には使用しないでください。

使用説明書について

この「使用説明書」は、SB-500とCLS対応カメラ、CPUレンズ (□A-5) との組み合わせを前提に説明しています。

ご使用前に使用説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

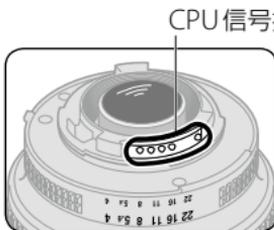
- i-TTL調光対応COOLPIX (P5100、P5000、E8800、E8700、E8400) との組み合わせについては「COOLPIXとの組み合わせについて」(□G-1) をご覧ください。
- カメラについての詳細は、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

本文中のマークについて

- ✓ 製品の故障や撮影の失敗を防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
- ✍ 製品を使用する際に知っておいていただきたいこと、便利な情報やヒントを記載しています。
- 📖 使用説明書上で関連情報が記載されているページです。

✍ CPUレンズの見分け方

CPUレンズにはCPU信号接点があります。



- IXニッコールレンズとの組み合わせでは使用できません。

✍ 使用説明書の取り扱いについて

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDFファイルをダウンロードできます。
<http://www.nikon-image.com/support/manual/>
- ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます(有料)。

用語と表記について

ニコンクリエイティブライティングシステム (CLS)：ニコンのスピードライトとカメラの先進的なデータ通信方式により、下記のスピードライト撮影機能を可能にしたシステムです。

i-TTL 調光モード / アドバンスドワイヤレスライティング撮影 / モデリング発光 / FVロック撮影 / 発光色温度情報伝達 / オートFPハイスピードシンクロ撮影

ガイドナンバー (GN)：スピードライトの発光量を示す値。GN＝スピードライトから被写体までの距離 (m) × 絞り値 (F) で表わします (ISO 100の場合)。

調光距離：スピードライトの光で適正露出が得られる、スピードライトから被写体までの距離です。

調光範囲：調光距離の範囲です。

調光補正：スピードライトの発光量を意図的に変えて、主要被写体の明るさを変えることをいいます。

i-TTL 調光モード：モニター発光を行って被写体からの反射光をカメラが測光して、スピードライトの発光量を制御します。

モニター発光：被写体からの反射光を測光するために、本発光の直前に行われる極めて短時間の発光です。

バランス調光 (i-TTL-BL 調光)：被写体と背景光のバランスを考慮して発光量を制御します。

スタンダードi-TTL 調光：背景光を考慮せず、主要被写体が基準露光量になるように発光量を制御します。

マニュアル発光モード：撮影者が任意の発光量と絞り値の組み合わせで露出を設定できる発光モードです。

ワイヤレス増灯撮影：ワイヤレスで複数のスピードライトを同時発光させる撮影です。

マスターフラッシュ（主灯）：増灯撮影時に、リモートフラッシュに指示を送るスピードライトです。

リモートフラッシュ（補助灯）：マスターフラッシュからの指示を受けて発光するスピードライトです。

アドバンストワイヤレスライティング撮影：CLS対応のワイヤレス増灯撮影。マスターフラッシュから複数のリモートフラッシュのグループの発光を制御できます。

目的別かんたん検索

使いたいことや知りたいことから、記載ページを簡単に探せます。

■ 撮影について-1

SB-500 をカメラのアクセサリシューに接続して使用する

使いたいこと・知りたいこと	キーワード	☐
発光モードを知りたい	発光モード	C-1
いちばん簡単な手順で撮影したい	撮影の基本ステップ	B-6
後ろの壁に映る影を消して撮影したい	バウンス撮影	F-2
ライティング状態を確認してから撮影したい	モデリング発光	F-6
人物と背景の夜景の両方をきれいに撮りたい	スローシンクロ (スローシャッター) 撮影	F-11
人物の瞳が赤くならないように撮影したい	赤目軽減発光撮影	F-11
COOLPIX と組み合わせて使いたい	COOLPIX との組み合わせ	G-1

■ 撮影について-2

LED ライトを使用する

使いたいこと・知りたいこと	キーワード	☐
LED ライトの特長を知りたい	LED ライト	D-1
LED ライトの使い方を知りたい	LED ライトの使い方	D-3

■ 撮影について-3

SB-500をワイヤレスで使用する

使いたいこと・知りたいこと	キーワード	📖
複数のスピードライトを使って撮影したい	アドバンストワイヤレス ライティング撮影	E-2、 E-4
ワイヤレス増灯撮影ができるCOOLPIX と組み合わせて使いたい	CLS 対応 COOLPIX	G-1

A

B

C

D

E

F

G

H

目次

A

お
使
い
に
な
る
前
に

A

お使いになる前に

SB-500と使用説明書について	A-2
目的別かんたん検索	A-8
安全上のご注意	A-13
ご確認ください	A-22

B

操作方法

各部の名称	B-1
連続発光について	B-5
撮影の基本ステップ	B-6

C

発光モード

i-TTL 調光モード	C-1
マニュアル発光モード	C-3

D

LEDライト

LEDライトの特長	D-1
LEDライトの使い方	D-3

ワイヤレス増灯撮影

SB-500のワイヤレス増灯の仕組み	E-1
SB-500のワイヤレス増灯撮影機能	E-3
アドバンストワイヤレスライティング撮影の手順	E-4
リモートフラッシュについて	E-6
ワイヤレス増灯撮影時の状況確認について	E-9

主な機能

バウンス撮影	F-2
撮影をサポートする機能	F-6
<ul style="list-style-type: none"> ・テスト発光 ・モデリング発光 ・スタンバイ ・過熱防止 	
カメラ側の設定による撮影機能	F-10
<ul style="list-style-type: none"> ・オートFPハイスピードシンクロ撮影 ・FVロック撮影 ・スローシンクロ（スローシャッター）撮影 ・赤目軽減発光撮影 ・後幕シンクロ撮影 ・露出補正 / 調光補正 	

A**G**

COOLPIXとの 組み合わせについて	G-1
--------------------------------------	-----

H

使用上のご注意・資料

故障かな?と思ったら	H-1
ガイドナンバーと絞り値、距離について	H-5
お手入れについて	H-6
電池についてのご注意	H-8
ファームアップの方法	H-9
使用できるアクセサリ	H-10
仕様	H-12
索引	H-18
ニコンプラザ、サービスセンターのご案内	H-21
アフターサービスについて	H-23

お
使
い
に
な
る
前
に

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。この「安全上のご注意」は製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。表示と意味は次のようになっています。

A

お使いになる前に

	危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

安全上のご注意

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

A

お
使
い
に
な
る
前
に

絵表示の例

	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

⚠ 警告（スピードライトについて）

	分解禁止 分解したり、修理や改造をしないこと 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
	接触禁止 落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと
	すぐに修理依頼を 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池を抜いて、販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
	水かけ禁止 水につけたり、水をかけたり、雨にぬらさない 感電や発火などの事故や故障の原因になります。

⚠ 警告 (スピードライトについて)

	電池を取る	<p>熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと</p> <p>そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。電池を抜いて、販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。</p>
	すぐに修理依頼を	
	使用禁止	<p>引火・爆発のおそれのある場所では使わない</p> <p>プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因になります。</p>
	発光禁止	<p>車の運転者等におむけてスピードライトを発光しない事故の原因となります。</p>
	発光禁止	<p>スピードライトを人の目に近づけて発光しない視力障害の原因となります。</p> <p>撮影時には、1m以上離れてください。</p>
	発光禁止	<p>発光パネル部を人体やものに密着させて発光しないやけどや発火の原因となります。</p>

安全上のご注意

注意 (スピードライトについて)

	感電注意	ぬれた手でさわらないこと 感電の原因になることがあります。
	保管注意	製品は、幼児の手の届くところに置かない ケガの原因となることがあります。
	注意	連続発光後は電池の発熱に注意すること 電池が発熱していて、やけどの原因となります。電池を 交換する際には、注意してください。
	注意	強い衝撃を与えないこと 内部が故障し、破裂、発火の原因になることがあります。
	溶剤清掃 禁止	シンナーやベンジンなどの有機溶剤でふかない プラスチック部品が変色したり破損するおそれがあります。
	保管注意	防虫剤と一緒に保管しない プラスチックケースが割れて火災や感電の原因になるこ とがあります。
	電池を 取る	長期間使用しないときは電池を外すこと 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因 になることがあります。
	放置禁止	窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所な ど、異常に温度が高くなる場所に放置しない 故障や火災の原因になることがあります。

A

お使いになる前に

 警告 (LEDライトについて)	
 点灯禁止	車の運転者等におむけてLEDライトを点灯しないこと事故の原因となります。
 点灯禁止	LEDライト部を人の目に向けて点灯しない視力障害の原因になります。撮影時には、1m以上離れてください。特に乳幼児の撮影には十分に注意してください。
 禁止	LEDライト部をできるだけ直接見ない視力障害の原因になります。
 点灯禁止	LEDライト部を人体やものに密着させて点灯しないやけどや発火の原因となります。

 危険 (アルカリ電池について)	
 危険	電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けることそのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。
 危険	ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。

安全上のご注意

警告 (アルカリ電池について)

 警告	外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 禁止	電池を火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 禁止	新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池をまぜて使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 分解禁止	電池を分解しない 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 警告	電池に表示された警告、注意を守ること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 警告	使用説明書に表示された電池を使用すること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 保管注意	電池は、幼児の手の届くところに置かない 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
 警告	電池の「+」と「-」の向きを間違えないようにすること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 水かけ禁止	水につけたり、ぬらさないこと 液もれ、発熱の原因となります。
 使用禁止	変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しない 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 禁止	充電電池以外は充電しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

A

お使いになる前に

警告 (アルカリ電池について)

 警告	<p>電池を廃棄するときは、ビニールテープなどで接点部を絶縁する 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。 お住まいの自治体の規則に従って正しく廃棄してください。</p>
 警告	<p>電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。</p>
 警告	<p>使い切った電池はすぐにスピードライトから取り出すこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>

危険 (ニッケル水素充電電池について)

 危険	<p>専用の充電器を使用し、2本同時に充電する液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>
 禁止	<p>電池を火に入れたり、加熱しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>
 危険	<p>電池の「+」と「-」の向きを間違えないようにすること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>
 分解禁止	<p>電池を分解しない 液もれ、発熱、破裂の原因となります。</p>
 危険	<p>ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に運んだり、保管したりしない ショートして液もれ、発熱、破裂の原因になりますので、ビニール袋などに入れて絶縁してください。</p>

安全上のご注意

危険 (ニッケル水素充電電池について)

 禁止	新しい電池と使用した電池、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 危険	電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

警告 (ニッケル水素充電電池について)

 警告	外装チューブをはがしたり、傷をつけないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 警告	電池に表示された警告、注意を守ること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 水かけ 禁止	水につけたり、ぬらさないこと 液もれ、発熱の原因となります。
 禁止	変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 保管注意	電池は、幼児の手の届くところに置かない 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
 警告	充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめること 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
 警告	電池からもれた液が皮膚や衣類に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

A

お使いになる前に

⚠ 警告 (ニッケル水素充電機について)

 警告	電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するとき、ビニールテープなどで接点部を絶縁する他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。
 警告	使用説明書に表示された電池を使用すること液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 注意 (ニッケル水素充電機について)

 注意	電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと液もれ、発熱、破裂の原因となります。
---	--

ご確認ください

A

お
使
い
に
な
る
前
に

■ 保証書について

本製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

■ カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録ができます。

<https://reg.nikon-image.com/>

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

■ カスタマーサポート

下記のホームページで、サポート情報をご案内しています。

<http://www.nikon-image.com/support/>

大切な撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてスピードライトが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

本製品を安心してお使いいただくために

本製品は、当社製のカメラおよびアクセサリに適合するように作られておりますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- ・ 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、本製品の十分な性能が発揮できないほか、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

作例集

「作例集」は、SB-500の機能を生かして撮影した作例写真とライティングについて説明しています。下記のホームページにて、「デジタル一眼レフカメラ」のカテゴリーから「スピードライト」を選び、「SB-500」のページに進んでください。PDFファイルがダウンロードできます。

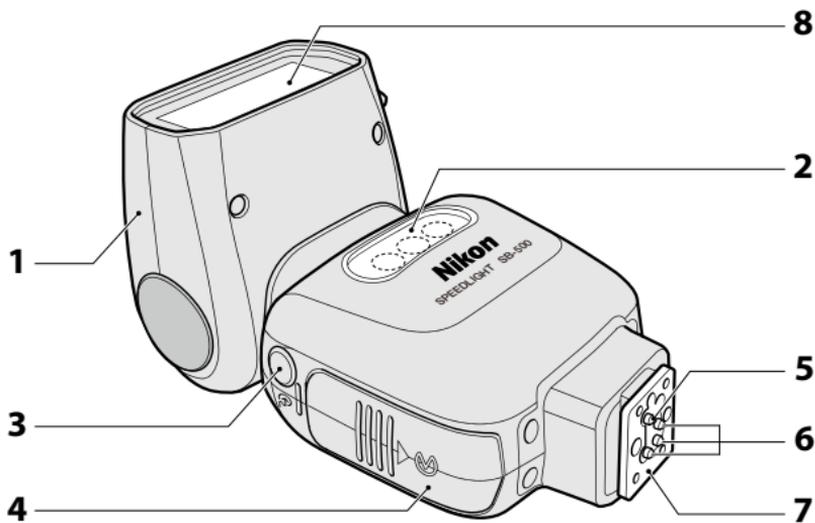
<http://nikonimglib.com/manual/>

B 操作方法

各部の名称

B

操作方法

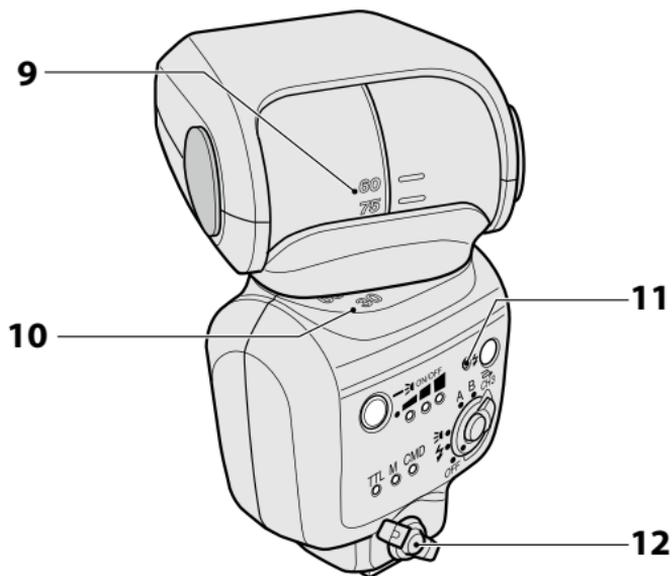


1. フラッシュヘッド
2. LEDライト (□D-1)
3. ワイヤレスリモートセンサー窓 (□E-6)
4. 電池ぶた
5. ロックピン
6. カメラ連動接点
7. 取付け脚
8. 発光パネル

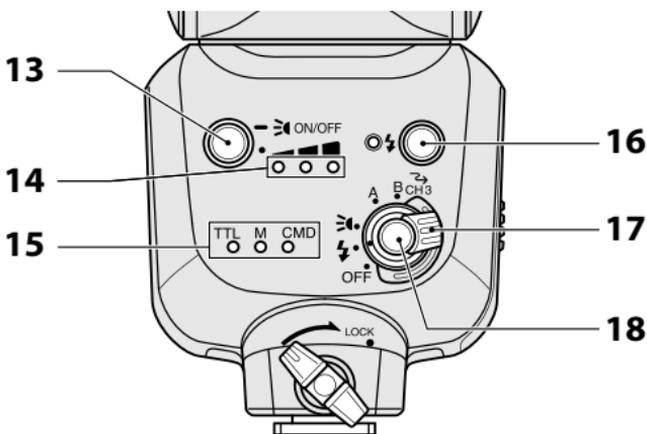
各部の名称

B

操作方法



- 9. フラッシュヘッド上方回転角度目盛 (□F-3)
- 10. フラッシュヘッド左右回転角度目盛 (□F-3)
- 11. レディーライト (□B-11、E-9)
- 12. ロックレバー (□B-9)



13. LED ボタン (☐D-3)

- ☑️: 長押しでLEDライトの点灯、消灯を切り換えます。
- ⏏️: 短押しでLEDライトの照度を切り換えます。

14. LED 照度表示ランプ (☐D-4)

- LEDライトの照度を表示します。

15. モード表示ランプ

- フラッシュの動作モードを表示します。
- TTL: i-TTL 調光モード
- M: マニュアル発光モード
- CMD: コマンダーモード

16. テスト発光ボタン (☐F-6)

- テスト発光ができます。

17. 電源スイッチ

- 電源のON/OFFを設定します。
- 各マークに指標を合わせ、使用する機能を設定します。

⚡: フラッシュ

(☐B-11、C-3、E-4)

☑️: LEDライト (☐D-3)

A: リモートモードグループA(☐E-5)

B: リモートモードグループB(☐E-5)

18. ロック解除ボタン (☐D-3、E-5)

- [⚡]と[☑️]間、[☑️]と[**A**]間を切り換える際は、このボタンを押しながら電源スイッチを回します。

連続発光について

■フラッシュの連続発光についてのご注意

- 発光部の過熱を防ぐため、連続発光は下記の制限回数でいったん止めて、発光部を10分以上、自然冷却してください。

発光モード	制限回数
i-TTL モード マニュアル発光（光量：M 1/1、M 1/2）	15 回以下
マニュアル発光（光量：M 1/4 ～ M 1/128）	40 回以下

- 連続発光を断続的に繰り返した場合は、安全機構が働き、発光間隔が通常よりも長くなります。
- さらに連続発光を行うと、一時的にフラッシュ発光ができなくなりますが、数分経過すると、安全機構が解除され、使用が可能になります。（□F-8）
- 安全機構が作動するまでの時間は、周囲温度や発光量によって異なります。
- 安全機構が解除されるまでの時間は、周囲温度によって異なります。

■LEDライトの連続点灯についてのご注意

- 連続して点灯すると、安全機構が働き、自動的に1段下の照度に取り替わります。（□F-9）
- さらに連続点灯を続けると、LEDライトが使用できなくなりますが、数分経過すると、安全機構が解除され、使用が可能になります。（□F-8）
- 安全機構が作動するまでの時間は、周囲温度や使用照度によって異なります。
- 安全機構が解除されるまでの時間は、周囲温度によって異なります。

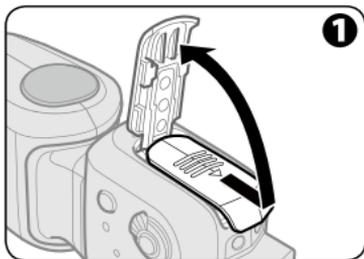
B

操作方法

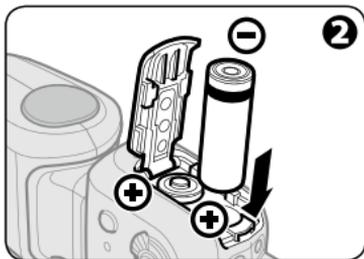
撮影の基本ステップ

SB-500とCLS対応カメラとの組み合わせで、i-TTL 調光モードを使った撮影の基本的なステップを説明しています。

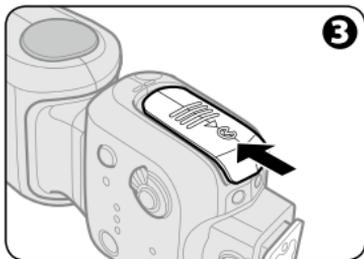
ステップ1 電池を入れる



- ① 電池ぶたをスライドさせて開ける



- ② +表示の向きに電池を入れる



- ③ 電池ぶたを押さえながら、スライドさせて閉じる

B

操作方法

撮影の基本ステップ

■ 使用できる電池

次の同じ種類の単3形電池2本を使います。交換の際は、2本とも同じ銘柄の新品電池または充電済みの電池を入れてください。

1.5V アルカリ単3形電池

1.2V ニッケル水素単3形充電電池

- 使用電池別の最短発光間隔、発光回数等については「仕様」(□H-17)をご覧ください。
- アルカリ電池はメーカーにより性能が大きく異なることがあります。
- 1.5V マンガン単3形電池のご使用はおすすめしません。

☑ 電池についてのご注意

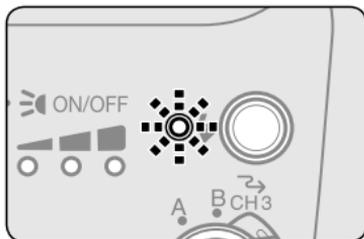
- 「安全上のご注意」の「危険」、「警告」、「注意」(□A-17～A-21)の注意事項をお守りください。
- 「電池についてのご注意」(□H-8)をよくお読みの上、内容を十分に理解してから正しくお使いください。

電池交換の目安

電源 ON や発光後、レディーライト点灯までの時間が次のように遅くなったら、早めに新しい電池に交換または充電してください。

1.5V アルカリ単 3 形電池	20 秒以上
1.2V ニッケル水素単 3 形充電電池	15 秒以上

電池容量不足の表示



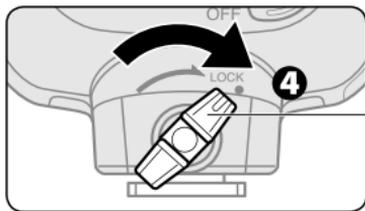
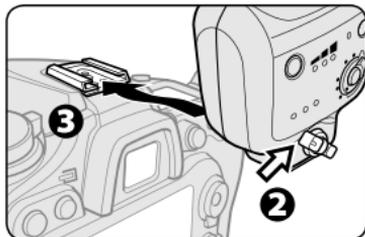
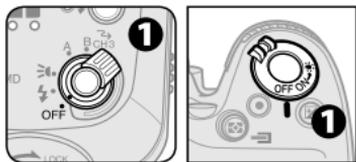
電池容量が不足すると、レディーライトが1秒間に2回の点滅を繰り返します（約40秒間）。新しい電池に交換または充電してください。

撮影の基本ステップ

B

操作方法

ステップ2 カメラに取り付ける



- ① SB-500およびカメラの電源OFFを確認する
- ② ロックレバーが左にあることを確認する
- ③ 取付け脚をアクセサリシューに差し込み、奥まで押し込む
- ④ ロックレバーを右にLOCKの位置まで回す

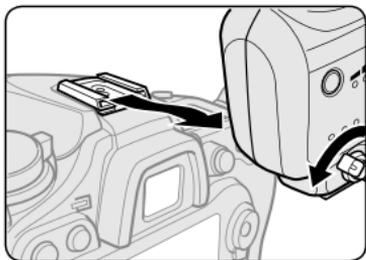
☑ ロックの確認

ロックレバーが止まり、ロック機構の指標が合っていることを確認してください。

☑ 内蔵フラッシュの自動ポップアップ機能についてのご注意

内蔵フラッシュの自動ポップアップ機能を搭載したカメラにSB-500を取り付ける場合は、SB-500の電源を必ずONにしてご使用ください。SB-500の電源をOFFにして使用すると、カメラの内蔵フラッシュが自動ポップアップした際にSB-500と接触しますのでご注意ください。SB-500を発光させないときは、カメラから取り外しておくことをおすすめします。

カメラからの取外し方



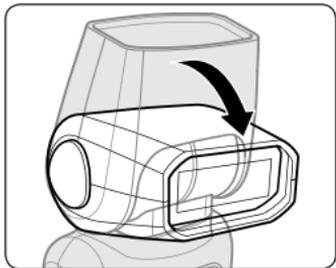
SB-500およびカメラの電源をOFFにしてから、ロックレバーを左に90°回し、取付け脚をゆっくり引き抜く

- 取付け脚が引き抜けない場合は、もう一度、ロックレバーを左にいっぱいまで回してからゆっくり引き抜いてください。
- 無理に引き抜かないでください。

B

操作方法

ステップ3 フラッシュヘッドを設定する



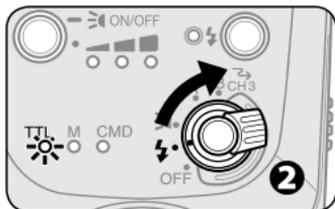
フラッシュヘッドを正面に設定する

撮影の基本ステップ

B

操作方法

ステップ4 電源をONにする

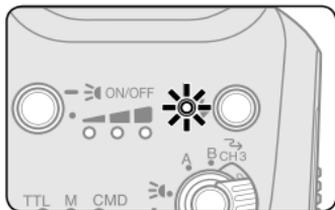


① カメラの電源をONにする

② SB-500の電源スイッチの指標を [⚡] に合わせる

- ・モード表示ランプの [TTL] が点灯します。

ステップ5 撮影する



SB-500またはカメラのファインダー内のレディーライトの点灯を確認して、撮影する



発光モード

SB-500では、「i-TTL 調光モード」と「マニュアル発光モード」の2つの発光モードが使用できます。

- SB-500では発光モードの選択はできません。装着したカメラ側の設定によって、自動的に発光モードが切り換わります。

i-TTL 調光モード

モニター発光を行って被写体からの反射光をカメラで測光して、カメラがスピードライトの発光量を制御する調光方式です。

- i-TTL 調光モードでの撮影手順は、「撮影の基本ステップ」をご覧ください。
(□B-6)
- i-TTL 調光モードは、装着したカメラの設定によってBL（バランス）調光またはスタンダード調光になります。SB-500で選択することはできません。

i-TTL-BL 調光

被写体と背景光のバランスを考慮して発光量を制御する、バランス調光を行います。

スタンダード i-TTL 調光

背景光を考慮せず、主要被写体が基準露光量になるように発光量を制御します。主要な被写体を強調した撮影に最適です。

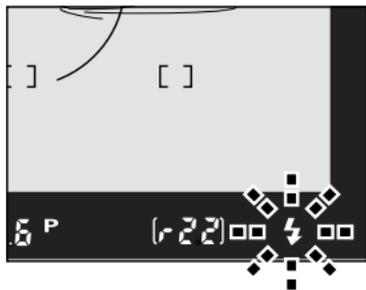
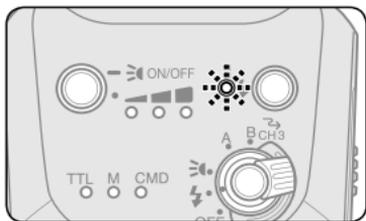
i-TTL 調光モード

📌 カメラの測光モードとi-TTL調光モードについて

- i-TTL-BL 調光時にカメラの測光モードをスポット測光に切り換えると、自動的にスタンダードi-TTL 調光に切り換わります。
- スポット測光から他の測光モードに戻すと、i-TTL-BL 調光に戻ります。

✔ 光量不足警告が出たら

発光モード



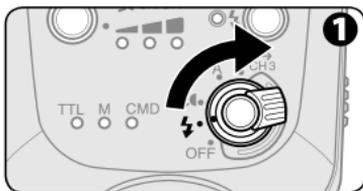
- 発光直後にカメラのファインダー内およびSB-500のレディーライトが約3秒間点滅した場合は、撮影に必要な光量が不足している可能性があります。
- スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側（小さい方の数値）にする、ISO感度を上げるなどして、撮影し直してください。

マニュアル発光モード

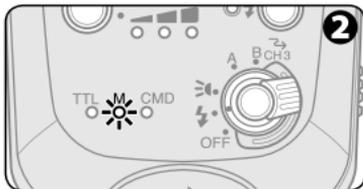
SB-500をカメラに装着し、カメラメニューの [外付けフラッシュ発光] で [マニュアル発光モード] を選ぶと、指定した発光量でフラッシュを発光させることができます。

- マニュアル発光モードでは、モニター発光、光量不足警告は行われません。
- D3 シリーズ、D2 シリーズ、D200、D80、D70 シリーズ、D50、F6 はマニュアル発光モードに対応していません。

マニュアル発光モードの撮影手順



① 電源スイッチの指標を [4] に合わせる



② カメラ側で発光量を設定する

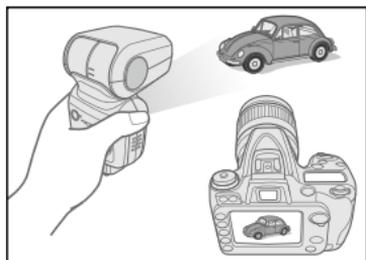
- 詳細はカメラの使用説明書をご覧ください。
- カメラ側で設定を行うと、モード表示ランプの [M] が点灯します。



③ レディーライトの点灯を確認して、撮影する

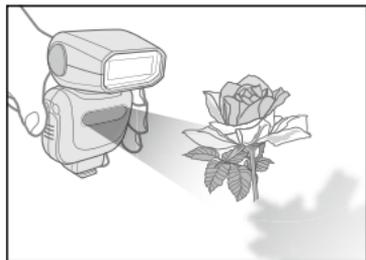
LED ライトの特長

SB-500では、LEDライトを使用した撮影ができます。SB-500のLEDライトには次のような特長があります。



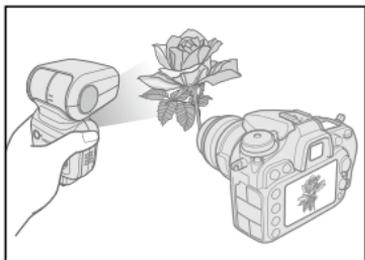
LED光で写真表現の幅が広がる

LED光なら、ライティングの状態をカメラのライブビューで確認できます。これにより、フラッシュ光ではセッティングが難しかったライティングも容易となり、幅広い写真表現が楽しめます。動画撮影時の補助照明としても活用が可能です。



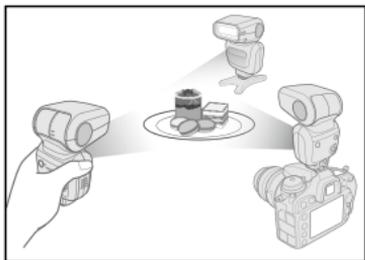
近距離撮影に最適なやわらかい光

テーブルフォトなどの近距離撮影では、被写体のテカリや影のコントロールがポイントになります。SB-500のLED光は、自然光に近い色合いと光のやわらかさの相乗効果により、近距離撮影に最適です。



カメラから離して、自由にライティング

SB-500のLED光は、自然光と同じ感覚で使用できます。カメラから外して、好きなアングル、高さ、位置、距離から、自由にライティングを愉しむことが可能です。



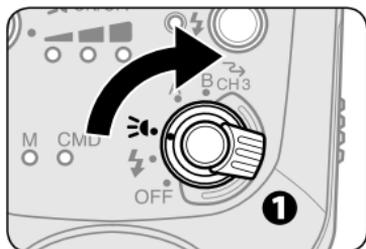
増灯撮影も気軽に

一般的に2灯以上の照明を駆使することで、より豊かで多彩な写真表現が可能になります。SB-500のLED光を使用すれば、フラッシュ光では難しかったクリエイティブな増灯撮影も、カメラのライブビューで確認しながら気軽に愉しめます。

- 付属のスピードライトスタンドAS-23を使用することで、SB-500を安定して設置できます。スピードライトの取り付け、取り外しは、アクセサリシューと同様に行ってください。
- スピードライトをスタンドに装着したまま移動するときは、必ずスピードライトの方を持ってください。

LEDライトの使い方

LEDライトの点灯方法



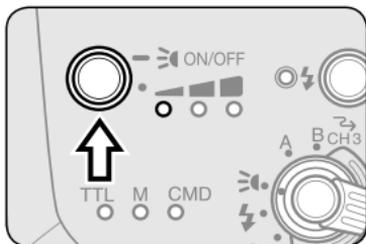
① 電源スイッチの指標を [ON/OFF] に合わせる

- ・電源スイッチはロック解除ボタンを押しながら回してください。

② LEDライトが点灯するまで、LEDボタンを長く押す



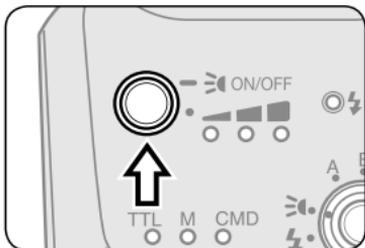
LEDライトの消灯方法



LEDライトが消灯するまで、LEDボタンを長く押す

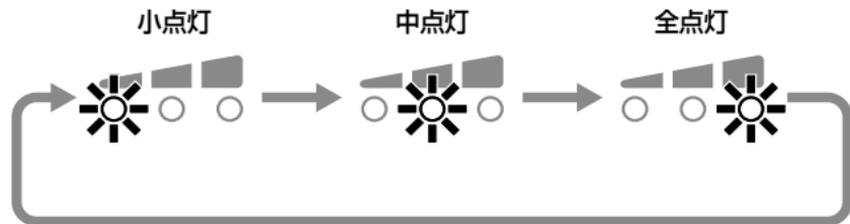
- ・使用しないときは、電源スイッチで電源をOFFにしてください。

LEDライトの照度の切り換え方法



LED ボタンを短く押して、 照度を切り換える

- 照度は下図のように切り換わり、選択中の照度がLED照度表示ランプで表示されます。
- LEDライト消灯時にも、照度の切り換えが可能です。
- LEDボタンを押す時間が長いと、照度は切り換らずに、点灯と消灯が切り換わります。



LEDライトの使い方

✓ カメラ装着時について

- LEDライトの点灯は手動操作のみです。カメラのシャッター操作とは連動しません。
- SB-500がスタンバイ状態になると、LEDライトは消灯します。スタンバイ状態からの復帰に連動しての点灯はしません。

✓ ホワイトバランスの設定について

SB-500のLEDライトを使用して撮影を行う場合、カメラのホワイトバランスを表のように設定してください。

- ホワイトバランスの設定方法は、カメラの使用説明書をご覧ください。

カメラ別のホワイトバランス設定

カメラ	ホワイトバランス設定
LEDライトの発光色温度情報伝達機能を備えているニコンデジタル一眼レフカメラ D810A, D810, D750, D7200, D5500	オート、フラッシュ
LEDライトの発光色温度情報伝達機能を備えていないニコンデジタル一眼レフカメラ	オート*、晴天
ニコンデジタル一眼レフカメラ D1、D50	オート、晴天
ニコンコンパクトデジタルカメラ COOLPIX (□G-1)	オート、晴天

※ 撮影結果を見ながら、必要に応じてホワイトバランスの微調整を行ってください。

SB-500のワイヤレス増灯の仕組み

SB-500では、アドバンストワイヤレスライティング撮影ができます。

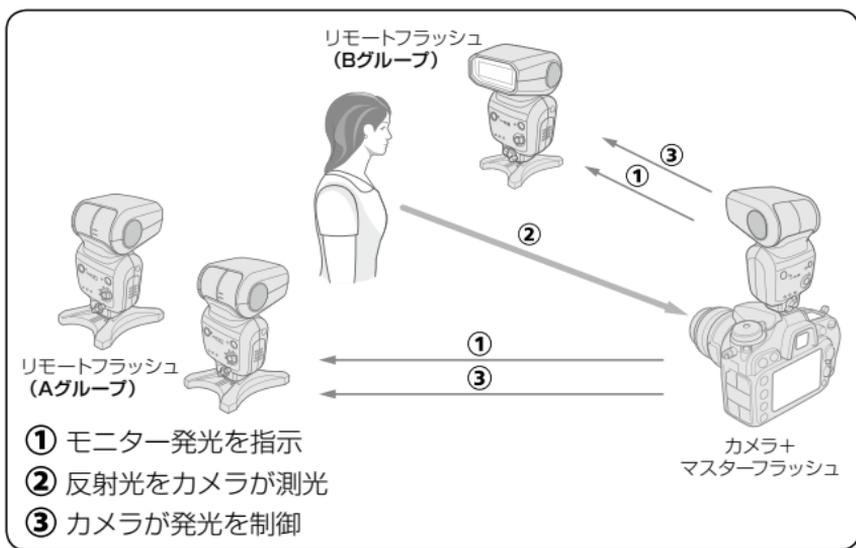
- SB-500をマスターフラッシュとして使用できるのは、SB-500のマスターフラッシュ機能に対応したカメラ（D810A、D810、D750、D7200、D5500など）です。

SB-500のワイヤレス増灯対応

カメラ	マスターフラッシュとして使用	リモートフラッシュとして使用
外付けフラッシュのコマンダー (CMD) モードあり	○	○
外付けフラッシュのコマンダー (CMD) モードなし	×	○

SB-500のワイヤレス増灯の仕組み

アドバンストワイヤレスライティング撮影



- ・カメラに装着したSB-500をマスターフラッシュ（主灯）、それ以外をリモートフラッシュ（補助灯）といいます。
- ・リモートフラッシュのグループは、最大2つ（A、B）を設定できます。
- ・リモートフラッシュの1グループは、1台または複数のスピードライトで設定できます。
- ・SB-500をリモートフラッシュとして使用する場合、チャンネルは[3]のみとなります。
- ・マスターフラッシュとリモートフラッシュの発光モードは、カメラ側で設定したモードになります。

SB-500のワイヤレス増灯撮影機能

	コマンダーモード時	リモートモード時
発光モード	<ul style="list-style-type: none">・i-TTL 調光モード・マニュアル発光モード・外部自動調光モード^{*1}	<ul style="list-style-type: none">・i-TTL 調光モード・マニュアル発光モード・リピーティングフラッシュ撮影^{*2}
グループ	最大2グループ (A、B)	
チャンネル	4チャンネル (1～4) ^{*3}	1チャンネル (3のみ)

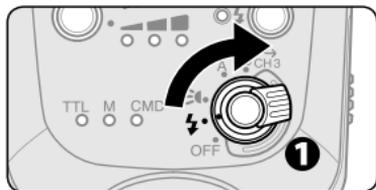
- ※1 グループAとBに対して設定が可能です。マスターフラッシュに対しては設定できません。
- ※2 リピーティングフラッシュ撮影の詳細は、マスターフラッシュとして使用するスピードライトSB-910、SB-900、SB-800、コマンダーSU-800の使用説明書をご覧ください。
- ※3 4つのチャンネルから1つを使用します。複数の人がアドバンストワイヤレスライティング撮影を行っているときは、誤発光を防止するため、他の人とは異なるチャンネルに設定してください。

☑ マスターフラッシュの「発光なし」について

マスターフラッシュの発光モードを「発光なし」に設定して、リモートフラッシュのみで撮影する場合でも、マスターフラッシュは少光量発光します。この少光量発光による露出への影響はほとんどありませんが、ISO感度を高感度にして近距離撮影すると被写体露出に影響を与える場合があります。この場合は、影響がなくなるまでマスターフラッシュのフラッシュヘッドを上に向けて調節してください。

アドバンストワイヤレスライティング撮影の手順

■ マスターフラッシュとして使用する場合

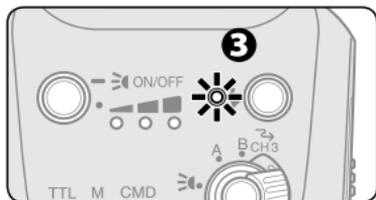
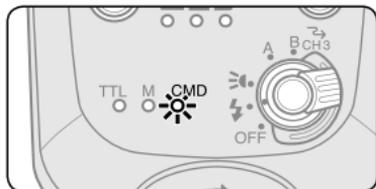


- ①** 電源スイッチの指標を [⚡] に合わせる



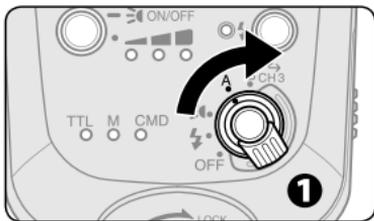
- ②** カメラ側で詳細を設定する

- カメラメニューの [外付けフラッシュ発光] で [コマンダーモード] を選び、設定してください。
- 詳細はカメラの使用説明書をご覧ください。
- カメラ側の設定後、モード表示ランプの [CMD] が点灯します。



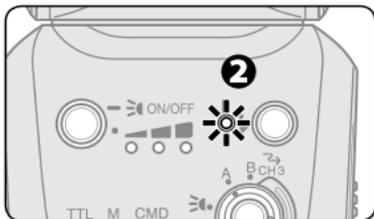
- ③** レディーライトの点灯を確認して、撮影する

リモートフラッシュとして使用する場合



① マスターフラッシュ側で設定したリモートフラッシュのグループに合わせて、電源スイッチの指標を [A] または [B] に合わせる

- 電源スイッチはロック解除ボタンを押しながら回してください。
- マスターフラッシュ側で、リモートフラッシュのチャンネルを [3] に設定してください。



② レディーライトの点灯を確認して、撮影する

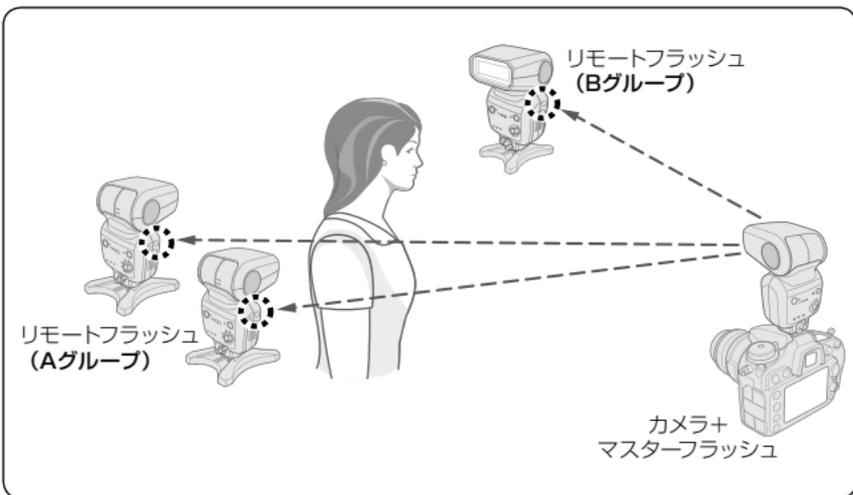
リモートフラッシュについて

■ リモートフラッシュの設定について

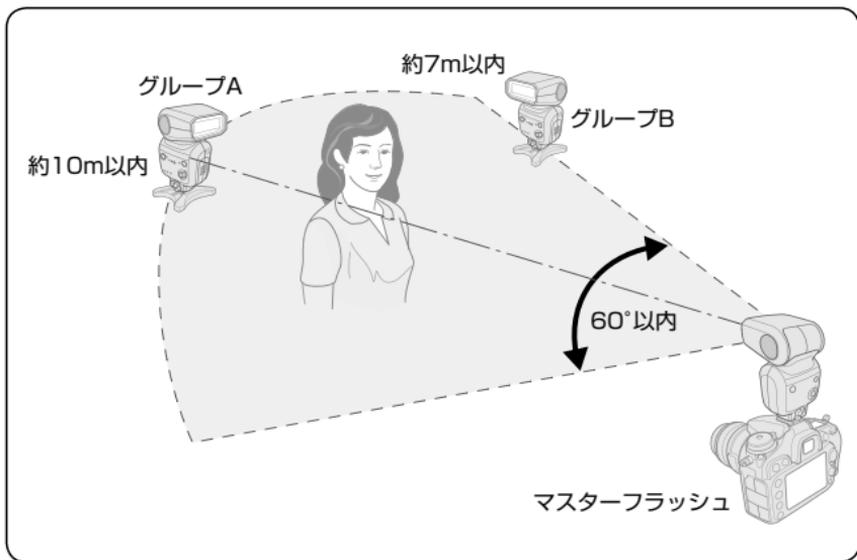
- ・リモートモードに設定すると、スタンバイ機能が解除されます。電池の消耗に注意してください。

■ リモートフラッシュの配置について

- ・リモートフラッシュは、マスターフラッシュの光がワイヤレスリモートセンサー窓に入る位置に置きます。特に、手持ちで撮影する場合、マスターフラッシュの光が確実にワイヤレスリモートセンサー窓に入るように、リモートフラッシュはカメラより前に配置してください。

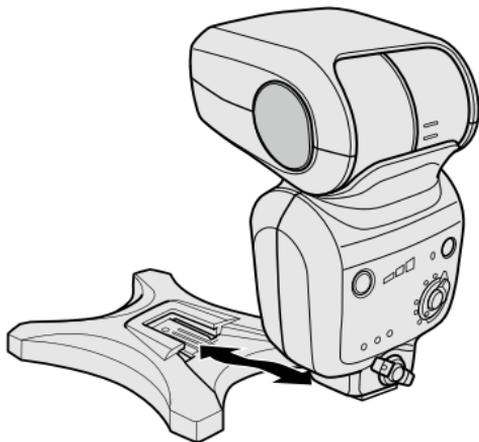


- マスターフラッシュとリモートフラッシュの距離は、マスターフラッシュの対向正面で約10mまで、両サイドで約7mまでが目安です。ただし、周囲の照明環境により、この距離は多少変化します。
- 同時に使用できるリモートフラッシュの台数に制限はありません。しかし、撮影環境によっては他のスピードライトの発光の影響を受けることがあるため、1グループ最大3台程度を目安にしてください。
- 同じグループのリモートフラッシュは1カ所にまとめ、同じ方向に向けてください。



リモートフラッシュについて

- マスターフラッシュとリモートフラッシュの間に障害物があると、正常な交信ができません。
- リモートフラッシュの光が、カメラの撮影レンズに入らないようにしてください。
- 付属のスピードライトスタンドAS-23を使用すると、リモートフラッシュを安定して設置できます。スピードライトの取り付け、取り外しは、アクセサリースューと同様に行ってください。
- スピードライトをスタンドに装着したまま移動するときは、必ずスピードライトの方を持ってください。



- 必ずリモートフラッシュのレディーライトの点灯を確認してから撮影してください。

ワイヤレス増灯撮影時の状況確認について

ワイヤレス増灯撮影時、撮影前後のSB-500の状況は、レディーライトで確認することができます。

レディーライトによる状況確認

マスターフラッシュ	リモートフラッシュ	状態
点灯	点灯	充電完了
消灯後、充電完了で点灯	消灯後、充電完了で点灯	正常発光
点滅 (約 3 秒間)	点滅 (約 3 秒間)	光量不足警告 光量不足の可能性があります。スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側（小さい方の数値）にする、ISO感度を上げるなどして、撮影し直してください。
消灯後、充電完了で点灯	速い点滅 (約 6 秒間)	<ul style="list-style-type: none">マスターフラッシュで設定した発光モードが外部自動調光モードです。外部自動調光以外のモードに設定し直してください。リモートフラッシュが正常に信号を受信できませんでした。スピードライト自身の反射光や、他のリモートフラッシュの光が強く入ってマスターフラッシュの発光停止を検出できなかった可能性があります。リモートフラッシュの位置を変えて、撮影し直してください。

E

ワイヤレス増灯撮影

F 主な機能

SB-500の各種撮影機能や撮影をサポートする機能、カメラで設定する撮影機能を説明しています。

- カメラ側の機能や設定については、お使いのカメラの使用説明書をご覧ください。

バウンス撮影 (□F-2)	
撮影をサポートする機能 (□F-6)	テスト発光 モデリング発光 スタンバイ 過熱防止
カメラ側の設定による撮影機能 (□F-10)	オート FP ハイスピードシンクロ撮影 FVロック撮影 スローシンクロ (スローシャッター) 撮影 赤目軽減発光撮影 後幕シンクロ撮影 露出補正 / 調光補正

F

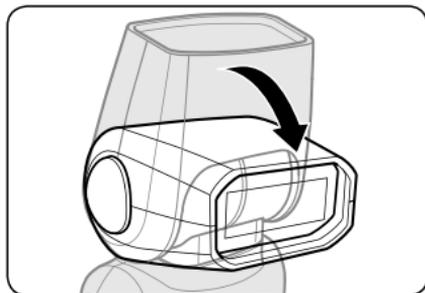
主な機能

バウンス撮影

フラッシュヘッドを回転させて、天井などに反射させた光を利用する撮影をバウンス撮影といいます。被写体に正面からスピードライトの光を当てる場合に比べて、次のような効果があります。

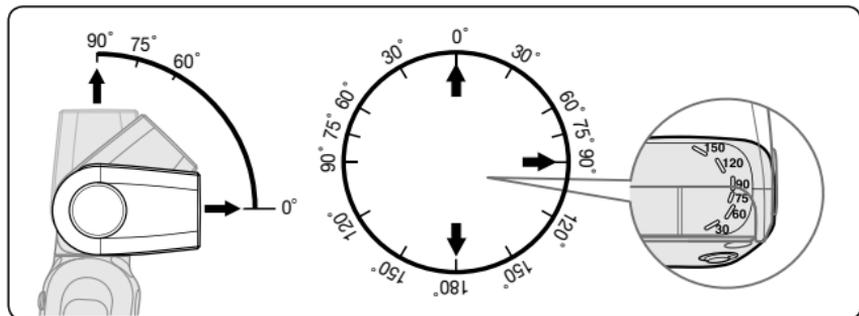
- 近い被写体だけが白とびするのを軽減できます。
- 背景に出る影を弱められます。
- 人物の肌や髪や服のてかりを抑えられます。

■ フラッシュヘッドの設定方法



フラッシュヘッドを回転させる

- ・ 上方向90°～正面、左右に180°ずつ回転できます。
- ・ 図に示す数値の角度でクリックストップします。



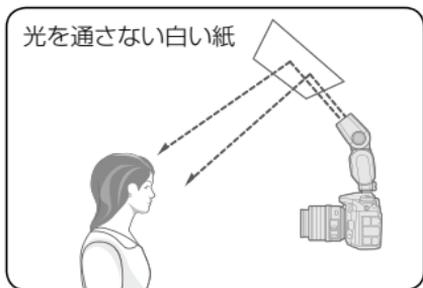
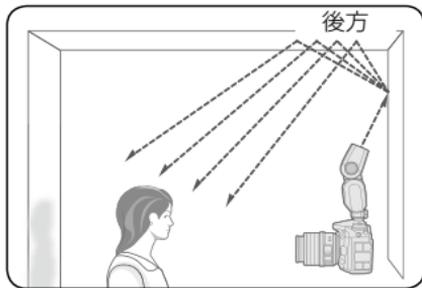
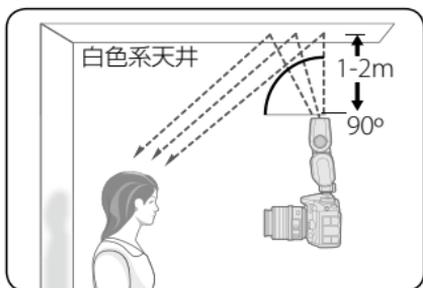
F

主な機能

■ バウンス角度、反射面の選び方

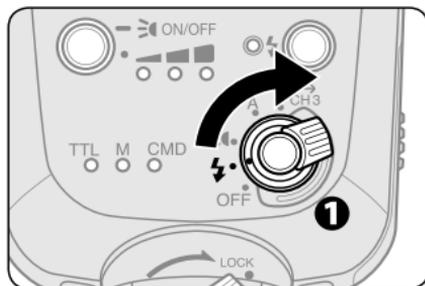
- ・ フラッシュヘッドを上方向に設定して、天井（反射面）にバウンスさせるのが最も簡単な撮影方法です。
- ・ カメラを縦位置に構えた場合は、フラッシュヘッドを左右に回転させると、同様の効果が得られます。

- カメラ後方の天井や壁にバウンスさせると、上方バウンスに比べて、さらにやわらかく照明できます。
- 反射面は、白色系で反射率の高いものを選んでください。反射面に色があると、被写体にその色が影響します。
- スピードライトの光が直接被写体に当たらないように注意してください。
- フラッシュヘッドと反射面との距離は、撮影状況にもよりますが、1～2m前後が理想的です。
- 反射面が遠過ぎる場合は、白い紙（A4判程度）を反射面に利用すると効果的です。このとき、反射光が被写体に当たっていることを確認してください。



バウンス撮影

■ バウンス撮影の手順



- ① 電源スイッチの指標を [⚡] に合わせる
- ② フラッシュヘッドを設定し、撮影する

✍ バウンス撮影時の露出について

通常（フラッシュヘッドが正面位置）の撮影に比べて、バウンス撮影は光量が減少します。マニュアル露出で撮影する場合、2～3段開放側（小さい数値）の絞り値、または2～3段高いISO感度に設定して、撮影結果を見ながら調整してください。

F

主な機能

撮影をサポートする機能

SB-500は撮影をサポートする機能を搭載しています。

- ・  はフラッシュで使用できる機能、 はLEDライトで使用できる機能です。

■ テスト発光

テスト発光ボタンを押すと発光して、SB-500が正常に発光するかどうかを確認できます。

- ・ テスト発光の光量は、発光モードや設定によって異なります。

■ モデリング発光

モデリング発光を行うと一定の微小光量で連続発光して、てかりや影など、ライティング状態をチェックすることができます。

- ・ モデリング発光機能を持つカメラのプレビューボタンを押すと、モデリング発光します。詳細はカメラの使用説明書をご覧ください。
- ・ 発光時間は、最長で約1秒間です。

■ アドバンスドワイヤレスライティング撮影時

- ・ カメラのプレビューボタンを押すと、発光に設定されているマスターフラッシュおよびすべてのリモートフラッシュが設定されたモードと光量でモデリング発光します。

F

主な機能

撮影をサポートする機能

■ スタンバイ

SB-500とカメラを操作しない状態が一定時間続くと、自動的に待機（スタンバイ）状態になり、電池の消耗を抑えます。スタンバイ状態への移行条件は、使用中の機能によって異なります。

電源スイッチの 指標	カメラとの接続状態	
	接続	単体
 フラッシュ	<ul style="list-style-type: none">カメラの半押しタイマー*に連動カメラの電源オフ操作に連動	一定時間の無操作
 LEDライト	<ul style="list-style-type: none">カメラの半押しタイマー*に連動カメラの電源オフ操作に連動	<ul style="list-style-type: none">点灯時：スタンバイ状態にならない消灯時：一定時間の無操作
A/B リモート モードグループ	スタンバイ状態にならない	スタンバイ状態にならない

※ 半押しタイマーの詳細は、カメラの使用説明書をご覧ください。

スタンバイ状態から電源 ON するには

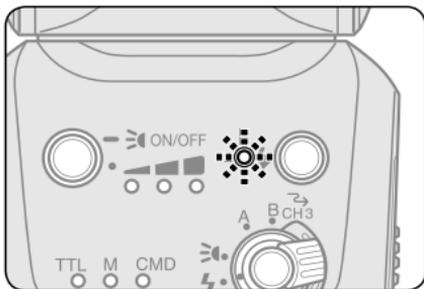
カメラとの接続状態	
接続	単体
<ul style="list-style-type: none">カメラのシャッターボタンを半押しするカメラの電源をONにするSB-500の電源スイッチを [OFF] 以外に切り換えるSB-500のテスト発光ボタンを押す	<ul style="list-style-type: none">SB-500の電源スイッチを [OFF] 以外に切り換えるSB-500のテスト発光ボタンを押す

■ 過熱防止

SB-500は過熱による発光パネル、LEDライト、本体の破損を防止する機能を備えています。ただし、この機能は発光によって発光部の温度が上昇するのを防止するものではありません。連続または長時間の発光を繰り返す場合は、温度上昇に注意してください。

- 連続発光などによって発光部の温度が上昇して、発光パネル、LEDライト、本体に破損のおそれがある場合は、レディーライトが警告表示に変わり、一時的に電源OFFを除く操作ができなくなります。(□H-3)
- フラッシュ使用時に過熱防止機能が作動した場合、LEDライトが過熱状態でなければ、LEDライトの点灯操作は可能です。
- LEDライト使用時に過熱防止機能が作動した場合、発光パネルが過熱状態でなければ、フラッシュの発光操作は可能です。

レディーライトの警告表示



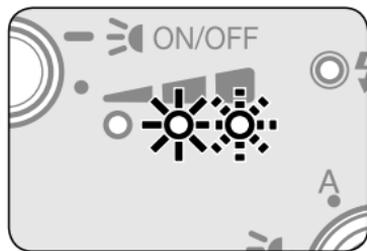
1秒間に1回点滅

- 本体を自然冷却してください。
- 警告表示が消えると、通常の操作ができます。

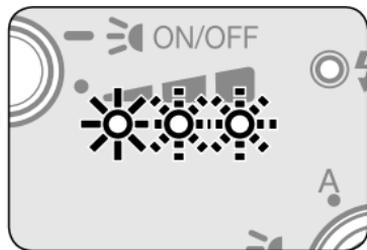
撮影をサポートする機能

LEDの過熱防止機能について

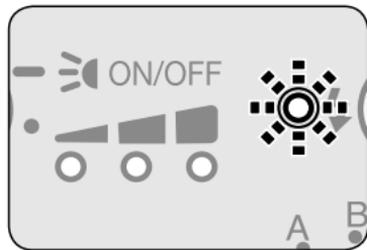
中点灯に切り換え



小点灯に切り換え



消灯



LEDライトが全点灯している状態で本体内部が所定の温度を超えると、自動的に中点灯 [※] に切り換わり、全点灯を示す右側のLED照度表示ランプが点滅 [※] します。さらに温度が上昇すると、小点灯に切り換わり、中点灯を示す中央のLED照度表示ランプが点滅します。

この状態からさらに温度が上昇すると、内部の安全機構が働き、レディーライトが点滅して、LEDライトが消灯します。しばらく放置し、自然冷却してから電源を入れ直してください。なお、温度が下がっても減光前の照度には自動で復帰しません。

F

主な機能

カメラ側の設定による撮影機能

次の撮影機能は、それぞれの機能を備えたカメラとの組み合わせでできる撮影で、カメラ側で設定します。スピードライトでは設定できません。

- ・カメラ側の機能や設定の詳細は、カメラの使用説明書をご覧ください。

■ オートFPハイスピードシンクロ撮影

対応カメラの最高速度までの高速シャッタースピードが使える機能です。

- ・シャッタースピードがフラッシュ同調シャッタースピードよりも高速側になった場合、自動的にFP発光に切り換わります。
- ・日中の撮影でも、フラッシュ同調シャッタースピードを気にすることなく、レンズの絞りを開いて背景をぼかした撮影がお楽しみいただけます。
- ・アドバンストワイヤレスライティングによる増灯撮影時でも機能します。
- ・使用できる発光モードは、i-TTL 調光、マニュアル発光です。
- ・FP発光時のTTL 調光範囲、ガイドナンバーについては「仕様」をご覧ください。(□H-16)

■ FVロック撮影

構図を変えてもフラッシュによる被写体の露光量をロック（維持）できるため、被写体の明るさを一定に保つ撮影ができます。

- ・アドバンストワイヤレスライティングによる増灯撮影時でも機能します。
- ・使用できる発光モードは、i-TTL 調光のみです。

カメラ側の設定による撮影機能

■ スローシンクロ (スローシャッター) 撮影

シャッタースピードが低速になるので、夕景や夜景の雰囲気を生かした撮影ができます。

- ・三脚のご使用をおすすめします。

■ 赤目軽減発光撮影

本発光直前に微少な光量で3回発光し、目が赤く写る現象を弱めた撮影ができます。

■ 後幕シンクロ撮影

光の軌跡が被写体の後方に流れる、自然な写真を撮影できます。

- ・通常、シャッタースピードを低速にして撮影するので、三脚のご使用をおすすめします。

F ■ 露出補正 / 調光補正

カメラ側の設定により、露出や調光の補正が可能です。

G COOLPIX との組み合わせについて

SB-500は、次のニコンコンパクトデジタルカメラCOOLPIXとの組み合わせでも使えますが、いくつかの機能は制限されます。

CLS対応COOLPIX (A、P7800、P7700、P7100^{*1}、P7000^{*1}、P6000)
i-TTL 調光対応COOLPIX (P5100、P5000、E8800、E8700、E8400)

・使用するカメラの使用説明書もあわせてご覧ください。

※1 ニコンコンパクトデジタルカメラCOOLPIX P7100およびP7000は、SB-500を装着した状態ではフラッシュのみ使用できます。LEDライトを使用する場合は、カメラから外してお使いください。

COOLPIX 使用時

	CLS対応COOLPIX	i-TTL 調光対応COOLPIX
使用できる発光モード	・ i-TTL-BL 調光モード (A、P7800、P7700のみ ^{*2}) ・ スタンダードi-TTL 調光モード ・ マニュアル発光モード (A、P7800、P7700のみ ^{*2})	
使用できるワイヤレス増灯モード	リモートフラッシュとしてのみ使用可能	
モデリング発光	使用不可	
FVロック撮影	使用可能 (Aのみ)	使用不可
オートFPハイスピードシンクロ撮影	使用不可	
発光色温度情報伝達 (フラッシュ)	使用可能 (A、P7800、P7700のみ)	使用不可
赤目軽減発光	使用可能 (P7800、P7700を除く)	使用不可
ファームアップ機能	使用可能 (Aのみ)	使用不可

※2 SB-500では発光モードの選択はできません。装着したカメラ側の設定によって、自動的に発光モードが切り換わります。

H 使用上のご注意・資料

トラブルへの対処、お手入れの方法や製品の保証などを説明しています。
また、使用できるアクセサリもご紹介しています。

故障かな？と思ったら

トラブルが起きたり、警告表示が出たら、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせになる前に、次の項目を確認してください。

SB-500のトラブル

トラブル	原因	対処方法	□
電源が入らない	電池の＋が逆になっている	電池を正しく入れてください	B-6
	電池容量が不足している	電池を交換してください	B-8
レディーライトが点灯しない	スタンバイ状態になっている	<ul style="list-style-type: none">カメラのシャッターボタンを半押ししてくださいSB-500の電源スイッチを[OFF]以外に切り換えてくださいSB-500のテスト発光ボタンを押してください	F-7
	電池容量が不足している	電池を交換してください	B-8
	電源スイッチの指標が  になっている	<ul style="list-style-type: none">正常な動作ですLEDライト使用時は、警告状態時を除き、レディーライト消灯が仕様となります	—

トラブル	原因	対処方法	□
リモートフラッシュが発光しない	<p>マスターフラッシュとリモートフラッシュの距離が遠すぎる、または間に障害物がある</p> <p>マスターフラッシュの光がリモートフラッシュのワイヤレスリモートセンサー窓に入っていない</p>	<p>マスターフラッシュとリモートフラッシュの配置をやり直してください</p>	<p>E-6 E-7 E-8</p>
正常に動作しない	<p>十分な容量がある電池を正しく入れていても左のようなトラブルがある場合は、マイクロコンピュータの誤作動の可能性があります</p>	<ul style="list-style-type: none"> • SB-500 の電源スイッチを [OFF] 以外にしたまま、電池を入れ直してください • 電池を入れ直しても左のようなトラブルが解消されない場合は、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください 	<p>B-6</p>
操作ができない	<p>過熱防止機能が働いた</p>	<p>自然冷却して、温度が下がるのを待ってください</p>	<p>F-8</p>

故障かな？と思ったら

レディーライトの点滅表示について

スピードライトの状態	表示	理由・対処方法	□
発光後	約 3 秒間点滅 *1	適正露出が得られていない可能性があります。スピードライトから被写体までの距離を短くする、絞り値を開放側（小さい方の数値）にする、ISO 感度を上げるなどして、撮影し直してください。	C-2 E-9
発光待機	1 秒間に 1 回点滅	スピードライトが熱くなっています。フラッシュや LED ライトを連続して使うと、過熱防止機能が働いて一時的に発光が制限されます。スピードライトの電源を OFF にして、スピードライト内部の温度が下がるまで使用を一時休止してください。	F-8
	1 秒間に 2 回点滅	電池容量が不足しています。電池を交換してください。	B-8
	1 秒間に 8 回点滅	スピードライトの内部回路にエラーが発生しました。カメラとスピードライトの電源を OFF にしてからスピードライトをカメラから取り外し、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。	H-23

スピードライトの状態	表示	理由・対処方法	☐
発光待機	0.5 秒間に 4 回の点滅を、0.5 秒間おきに繰り返す	ニコンクリエイティブライティングシステム (CLS) に対応していないカメラに装着したため、使用できません。CLS 対応カメラを使用してください。	—
	0.5 秒間に 4 回の点滅を、0.5 秒間おきに約 6 秒間繰り返す ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> • マスターフラッシュで設定した発光モードが外部自動調光モードです。外部自動調光以外のモードに設定し直してください。 • リモートフラッシュが正常に信号を受信できませんでした。スピードライト自身の反射光や、他のリモートフラッシュの光が強くなってマスターフラッシュの発光停止を検出できなかった可能性があります。リモートフラッシュの位置を変えて、撮影し直してください。 	E-9

※1 i-TTL調光モード時のみ

※2 リモートモード時のみ

ガイドナンバーと絞り値、距離について

ガイドナンバー (GN) とはスピードライトの発光量を示す値で、数値が大きいほど光量が大きく、光が遠くまで届きます。

ガイドナンバー＝スピードライトから被写体までの距離(m)×絞り値(F)という関係があります (ISO 100の場合)。たとえば、SB-500はガイドナンバーが24(ISO 100、照射角: 24mmレンズの画角をカバー、FXフォーマット、23℃)なので、ISO感度が100で絞り値がF8なら、ガイドナンバー24÷絞り値8＝3mまでスピードライトの光が届くことになります。

- ISO 100以外の場合は、ISO感度に応じてガイドナンバーに下の係数を乗じてください。

ISO	25	50	100	200	400	800	1600	3200	6400
係数	0.5	0.71	1	1.4	2	2.8	4	5.6	8

- ガイドナンバーの詳細は「仕様」をご覧ください。(□H-16)

適正な露出が得られる絞り値、距離の求め方

絞り値 = ガイドナンバー(ISO 100・m) × ISO感度係数 ÷ スピードライトから被写体までの距離(m)

スピードライトから被写体までの距離(m) =
ガイドナンバー(ISO 100・m) × ISO感度係数 ÷ 絞り値

お手入れについて



使用禁止

シンナーやベンジンなどの有機溶剤を清浄に使用しないこと

火災や健康障害の原因となります。

お手入れの方法

- 発光パネルにゴミが付着したまま発光させると、発光パネルの破損につながります。定期的にパネルを清掃してください。
- ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払った後、柔らかい清潔な布で軽く拭いてください。特に、海辺で使った後は、真水を数滴たらした柔らかい清潔な布で塩分を拭き取ってから、乾いた布で軽く拭いて乾かしてください。
- スピードライト内部には、精密な電子部品が多く含まれています。振動や衝撃を与えないでください。

お手入れについて

■ 保管の方法

- カビや湿気による故障を防ぐため、風通しの良い乾燥したところに保管してください。
- 防虫剤や磁気を発生する器具の近くには、置かないでください。
- 極端に高温になるところ（夏期の車内やストーブなどの近く）には、置かないでください。故障の原因となります。
- 約2週間以上使用しないときは、電池の液漏れによる故障を防ぐために、電池を取り出してください。
- コンデンサー（スピードライト内部の部品）の劣化を防ぐため、約1カ月に1回は2、3回発光させてください。

■ ご使用になる場所にご注意ください

- 極端に温度差がある場所に移動すると、スピードライトの内部や外観部に水滴が生じることがあります。バッグやビニール袋などに入れ、周囲の温度になじませてからご使用ください。
- テレビ塔や高圧鉄塔に近い場所では、強い磁気や電波が発生しており、誤作動することがあります。

電池についてのご注意

- 一般的に、スピードライトは非常に大きな電流を消費するため、電池などに記されている充放電回数前に電池が使えなくなる場合があります。
- 電池を交換するときは、電源をOFFにしてから、＋－を間違えないよう正しく入れてください。
- 電池の両極に油や汚れなどが付着していると、接触不良の原因となりますので、ご注意ください。
- 電池の仕様により、連続発光して電池が高温になると発光できなくなることがあります。ただし、電池温度が下がれば、ご使用になれます。
- 電池には、低温になるほど性能が低下する性質、使用しないでおくと電圧が回復する性質、使わなくても自己放電する性質があります。ご使用になる前には電池の容量の確認を心がけて、電池は早めに交換することをおすすめします。
- 電池は、高温・多湿になる場所を避けて保管してください。
- 充電電池のご使用上の注意や充電方法などについては、各メーカーの電池および充電器の使用説明書をご覧ください。
- 危険ですので、充電電池以外は充電しないでください。



小型充電式電池の
リサイクル

不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

ファームアップの方法

SB-500のファームアップに対応したニコンデジタル一眼レフカメラおよびニコンコンパクトデジタルカメラCOOLPIX Aでは、ニコンウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードして、カメラボディーからの操作でアップデートすることができます。

<http://www.nikon-image.com/support/>

- D3カメラはファームウェアがA：2.00、B：2.00以降で対応。
- D300カメラはファームウェアがA：1.10、B：1.10以降で対応。
- ファームアップ対応カメラをお持ちでない方は、ニコンサービス機関にご相談ください。

SB-500のファームアップに対応していないCLS対応のニコンデジタル一眼レフカメラ

D2シリーズ、D200、D80、D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ

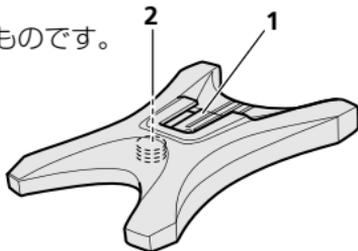
使用できるアクセサリ

■ スピードライトスタンド AS-23

付属品のスピードライトスタンドと同じものです。

各部の名称

- 1 スピードライト取り付けシュー
- 2 三脚ネジ穴



取り付け / 取り外し方

アクセサリシューにスピードライトを取り付ける場合と同様に、取り付け / 取り外します。

使用上のご注意

本製品をスピードライトに装着したまま移動するときは、必ずスピードライトの方を持ってください。

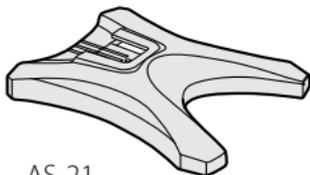
仕様

大きさ (W×H×D) : 約57.2×10.4×72.8mm

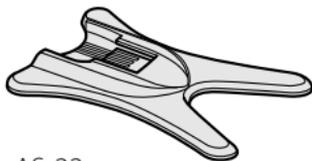
質量 : 約13g

仕様・外観の一部は、改良のため予告なしに変更することがあります。

■ スピードライトスタンド AS-21 / AS-22



AS-21

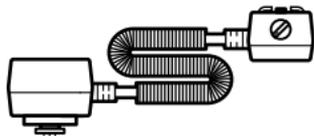


AS-22

使用できるアクセサリ

■ TTL 調光コード SC-28 (約1.5m)

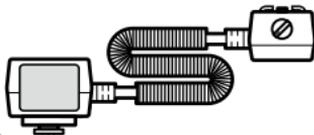
スピードライトをカメラから離して
i-TTL 調光撮影をする際に使用します。
三脚取り付け用のねじ穴を備えています。



■ TTL 調光コード SC-29 (約1.5m)

スピードライトをカメラから離して
i-TTL 調光撮影をする際に使用します。
アクティブ補助光機能を備えています。

※ SB-500ではアクティブ補助光機能は使用できません。



仕様

型式	直列制御方式 TTL 自動調光スピードライト	
フラッシュ	ガイドナンバー (23℃)	24 (ISO 100・m)
	照射角	<ul style="list-style-type: none"> ・24mm レンズの画角をカバー (FX フォーマット) ・16mm レンズの画角をカバー (DX フォーマット)
	調光範囲 (i-TTL 調光 モード時)	0.6m ~ 20m (ISO 感度、絞り値によって異なります)
	発光モード	<ul style="list-style-type: none"> ・i-TTL 調光モード ・マニュアル発光モード
	その他の 発光機能	テスト発光 / モニター発光 / モデリング発光
	ニコン クリエイティブ ライティング システム (CLS)	対応カメラと組み合わせると、次の機能が可能。 i-TTL 調光モード / アドバンストワイヤレスライティング撮影 / モデリング発光 / FV ロック撮影 / 発光色温度情報伝達 / オートFPハイスピードシンクロ撮影
	対応カメラ	<ul style="list-style-type: none"> ・FX フォーマット / DX フォーマットのニコンデジタル一眼レフカメラ (D1 シリーズ、D100 を除く) ・ニコンフィルム一眼レフカメラ (F6) ・CLS 対応ニコンコンパクトデジタルカメラ COOLPIX (A、P7800、P7700、P7100、P7000、P6000) ・i-TTL 調光対応ニコンコンパクトデジタルカメラ COOLPIX (P5100、P5000、E8800、E8700、E8400)
増灯撮影機能	アドバンストワイヤレスライティング撮影 (コマンダーモード / リモートモード)	

仕様

フラッシュ	バウンス角度	<ul style="list-style-type: none">・垂直方向：上方向90°～正面 (クリック：正面/60°/75°/90°)・水平方向：左方向180°～右方向180° (クリック：正面/30°/60°/75°/90°/120°/150°/180°)
	閃光時間	約1/1100 秒：フル発光時
LEDライト	最大照度	約100 lx (全点灯時、1mにて)
	照射角	<ul style="list-style-type: none">・24mm レンズの画角をカバー (FXフォーマット)・16mm レンズの画角をカバー (DXフォーマット)
電源 ON/OFF		電源スイッチによる切り換え
使用電池		次の単3形電池の同一種類を2本 <ul style="list-style-type: none">・1.5V アルカリ単3形電池・1.2V ニッケル水素単3形充電電池 使用電池別の最短発光間隔、発光回数、LEDライト連続点灯時間は (□H-17)
レディーライト		<ul style="list-style-type: none">・充電完了：点灯・警告表示：点滅 (□H-3～H-4)
ロックレバー		ロックプレートおよびロックピンにより、アクセサリースューからの脱落を防止。

その他の機能	過熱防止 / ファームアップ
ファームアップ対応カメラ	<ul style="list-style-type: none"> FXフォーマット / DXフォーマットのCLS対応 ニコンデジタル一眼レフカメラ (以下の製品を除く : D2シリーズ、D200、D80、 D70シリーズ、D60、D50、D40シリーズ) ニコンコンパクトデジタルカメラCOOLPIX A
寸法 (W × H × D)	約67 × 114.5 × 70.8mm
質量	約273g (1.5V アルカリ単3形電池 × 2本を含む) 約226g (本体のみ)
付属品	スピードライトスタンド AS-23、 ソフトケース SS-DC2

- 仕様中のデータは特に記載のある場合を除き、全てCIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による温度条件 (23℃ (± 3℃)) で、新品電池使用時のものです。
- 製品の的外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 本書記載の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

仕様

調光範囲 (i-TTL 調光モード)

SB-500の調光範囲は0.6m～20mです。調光範囲はISO感度、絞り値によって異なります。

		ISO 感度									
		50	100	200	400	800	1600	3200	6400	12800	
絞り値 (F)	1.4	1.1 ~ 12	1.5 ~ 16.9	2.2 ~ 20	3 ~ 20	4.3 ~ 20	6.0 ~ 20	8.5 ~ 20	12 ~ 20	17 ~ 20	調光距離範囲 (m)
	2	0.8 ~ 8.4	1.1 ~ 12	1.5 ~ 16.9	2.2 ~ 20	3 ~ 20	4.3 ~ 20	6 ~ 20	8.5 ~ 20	12 ~ 20	
	2.8	0.6 ~ 6	0.8 ~ 8.4	1.1 ~ 12	1.5 ~ 16.9	2.2 ~ 20	3 ~ 20	4.3 ~ 20	6 ~ 20	8.5 ~ 20	
	4	0.6 ~ 4.2	0.6 ~ 6	0.8 ~ 8.4	1.1 ~ 12	1.5 ~ 16.9	2.2 ~ 20	3 ~ 20	4.3 ~ 20	6 ~ 20	
	5.6	0.6 ~ 3	0.6 ~ 4.2	0.6 ~ 6	0.8 ~ 8.4	1.1 ~ 12	1.5 ~ 16.9	2.2 ~ 20	3 ~ 20	4.3 ~ 20	
	8	0.6 ~ 2.1	0.6 ~ 3	0.6 ~ 4.2	0.6 ~ 6	0.8 ~ 8.4	1.1 ~ 12	1.5 ~ 16.9	2.2 ~ 20	3 ~ 20	
	11	0.6 ~ 1.5	0.6 ~ 2.1	0.6 ~ 3	0.6 ~ 4.2	0.6 ~ 6	0.8 ~ 8.4	1.1 ~ 12	1.5 ~ 16.9	2.2 ~ 20	
	16	0.6 ~ 1	0.6 ~ 1.5	0.6 ~ 2.1	0.6 ~ 3	0.6 ~ 4.2	0.6 ~ 5.9	0.8 ~ 8.4	1.1 ~ 12	1.5 ~ 16.9	
	22	0.6 ~ 0.7	0.6 ~ 1	0.6 ~ 1.5	0.6 ~ 2.1	0.6 ~ 3	0.6 ~ 4.2	0.6 ~ 5.9	0.8 ~ 8.4	1.1 ~ 12	
	32	—	0.6 ~ 0.7	0.6 ~ 1	0.6 ~ 1.5	0.6 ~ 2.1	0.6 ~ 3	0.6 ~ 4.2	0.6 ~ 5.9	0.8 ~ 8.4	
	45	—	—	0.6 ~ 0.7	0.6 ~ 1	0.6 ~ 1.5	0.6 ~ 2.1	0.6 ~ 3	0.6 ~ 4.2	0.6 ~ 5.9	
	64	—	—	—	0.6 ~ 0.7	0.6 ~ 1	0.6 ~ 1.5	0.6 ~ 2.1	0.6 ~ 3	0.6 ~ 4.2	

ガイドナンバー表

SB-500のガイドナンバーはISO感度、発光量によって異なります。

ISO 100・m

発光量	1/1	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	1/128
ガイドナンバー	24	16.9	12	8.4	6	4.2	3	2.1

FP 発光時のガイドナンバー表

ISO 100・m

発光量	1/1	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32	1/64	1/128
ガイドナンバー	10.1	7.1	5.1	3.6	2.5	1.8	1.3	0.9

- FP発光時のガイドナンバーはシャッタースピード1/500秒、D4カメラ装着時の値です。
- 上記FP発光時のガイドナンバーはシャッタースピードによって変化します。例えばシャッタースピードが1/500から1/1000になるとガイドナンバーは1段小さくなります。つまり高速になるほどガイドナンバーは小さくなります。

電池別のフラッシュ発光間隔と発光回数

電池	最短発光間隔 ^{※1}	発光回数 ^{※2} / 発光間隔 ^{※1}
1.5V アルカリ単3形電池	約4.0秒	100回以上 / 4.0～30秒
1.2V ニッケル水素単3形充電電池	約3.5秒	140回以上 / 3.5～30秒

※1 発光間隔は、30秒に1回の発光を行ったときのフル発光相当からレディーライト点灯までの時間です。

※2 発光回数は、30秒に1回の発光を行ったときの、フル発光相当から30秒以内にレディーライトが点灯する回数です。

- 電池初期での性能です。電池の新旧、および同じ銘柄でも、電池性能の変更などによってデータが異なることがあります。

電池別のLEDライト連続点灯時間（全点灯の場合）

電池	連続点灯時間
1.5V アルカリ単3形電池	約30分
1.2V ニッケル水素単3形充電電池	約60分

- 電池初期での性能です。電池の新旧、および同じ銘柄でも、電池性能の変更などによってデータが異なることがあります。
- 連続点灯時間は周囲温度によって変わる場合があります。

索引

英数字 / 五十音順

• 各部の名称については「各部の名称」(□B-1)をご覧ください。

英数字

BL (バランス) 調光	C-1
CLS	A-6
CLS対応カメラ	A-4
CLS対応COOLPIX	G-1
COOLPIX	G-1
CPUレンズ	A-5
FVロック撮影	F-10
GN (ガイドナンバー)	H-5
i-TTL-BL 調光	C-1
i-TTL 調光対応COOLPIX	G-1
i-TTL 調光モード	C-1
ISO感度	H-5
ISO感度係数	H-5
LEDボタン	B-4
LEDライト	D-1
TTL調光コード	H-11

あ

赤目軽減発光撮影	F-11
アクセサリ	H-10
アドバンストワイヤレス ライティング撮影	E-2、E-4
後幕シンクロ撮影	F-11
オートFPハイスピード シンクロ撮影	F-10

か

ガイドナンバー	H-5
ガイドナンバー表	H-16
過熱防止	F-8
グループ	E-3
光量不足警告	C-2、E-9
コマンダーモード	E-3

索引

さ

- 最短発光間隔……………H-17
- 絞り値……………H-5
- スタンダードi-TTL調光……………C-1
- スタンバイ……………F-7
- スピードライトスタンド……………D-2、E-8
- スローシンクロ
（スローシャッター）撮影……………F-11
- 増灯撮影……………D-2、E-1

た

- チャンネル……………E-3
- 調光距離……………A-6
- 調光範囲……………A-6
- 調光範囲表……………H-15
- テスト発光……………F-6
- 電池……………B-7、H-8
- 電池交換……………B-8
- 電池容量不足表示……………B-8
- 動画撮影……………D-1
- 取付け脚……………B-9

な

- ニコンクリエイティブ
ライティングシステム(CLS)……………A-6
- ニコンコンパクトデジタルカメラ
COOLPIX……………G-1

は

- バウンス撮影……………F-2
- 発光回数……………H-17
- 発光間隔……………H-17
- 発光モード……………C-1、C-3
- バランス調光……………C-1
- ファームアップ……………H-9
- フラッシュヘッド……………B-10、F-3

ま

- マスターフラッシュ（主灯）
……………A-7、E-4
- マニュアル発光モード……………C-3
- モデリング発光……………F-6
- モニター発光……………A-6

ら

- リモートフラッシュ（補助灯）
……………A-7、E-5、E-6
- リモートモード……………E-3
- レディーライト……B-11、E-9、H-3
- レディーライト
（リモートモード時）……………E-9
- 連続発光……………B-5
- ロック解除ボタン……………B-4
- ロックレバー……………B-9

わ

- ワイヤレス増灯撮影……………E-1
- ワイヤレスリモートセンサー窓……E-6

ニコンプラザ、サービスセンターのご案内

■ニコンプラザ

ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。充実したサポートサービスを通して、お客さまのデジタルイメージングの世界を広げ、写真文化の普及、向上に資することを目指しています。

ニコンプラザ銀座

〒104-0061 東京都中央区銀座7-10-1 ストラータ ギンザ 1・2階

営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第1土曜日とその翌日、8月の第2土曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ新宿

〒163-1528 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー 28階

営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月11日・12日、8月の第3日曜日とその翌日を除く毎日)

ニコンプラザ名古屋

〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK 名古屋放送センタービル 2階

営業時間：10:30～18:30(日曜日、祝日、年末年始を除く毎日)

ニコンプラザ大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-2 ヒルトンプラザウエスト・オフィスタワー 13階

営業時間：10:30～18:30(年末年始、2月の第3土曜日とその翌日、8月の第3土曜日とその翌日を除く毎日)

 ニコンプラザショールーム (ナビダイヤル)
0570-02-8080

 ニコンプラザサービスセンター (ナビダイヤル)
0570-02-8060

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるニコンプラザをお選びください。

■サービスセンター

ニコン映像製品のメンテナンスサポートの窓口です。カメラ製品の展示の他、ご質問、ご相談もお受けしています。お気軽にご来所ください。

札幌サービスセンター

〒060-0807 札幌市北区北7条西4-3-1 新北海道ビルディング2階

福岡サービスセンター

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビル1階

(各サービスセンター共通)

営業時間：9:30～18:00 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休業など弊社定休日を除く毎日)



(ナビダイヤル)

0570-02-8050

* 音声ガイダンスにしたがって、ご利用になるサービスセンターをお選びください。

-
- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
 - ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03)6702-0577 (ニコンカスタマーサポートセンター) におかけください。

アフターサービスについて

■ この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■ 修理を依頼される場合は

ニコンサービス機関（ニコンプラザ、サービスセンター、修理センター）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。

- ニコンサービス機関について詳しくは、「ニコンプラザ、サービスセンターのご案内」（QH-21）および裏面をご覧ください。

■ 補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品(その製品の機能を維持するために必要な部品)の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>

全国共通のナビダイヤルにお電話ください。



0570-02-8000

一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。
ファクシミリでのご相談は、(03) 5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。

※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。



0120-02-8155

営業時間：9:00～18:00(年末年始12/29～1/4を除く毎日)

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。

製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン 修理センター>

230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26



0570-02-8200

一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30～18:00(土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング/サポートページ>

● <http://www.nikon-image.com/support/>

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報をご覧いただけます。

※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。

● <http://www.nikon-image.com/support/repair/>

「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 **ニコン**

株式会社 **ニコン イメージング ジャパン**

Printed in China

TT5K04(10)

8MSA6610-04

© 2014 Nikon Corporation